

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年10月25日

計画の名称	小牧駅周辺地区都市再生整備計画												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和02年度 (3年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	小牧市												
計画の目標	本計画では、第6次小牧市総合計画の基本理念である「暮らしを守る・暮らしを豊かにする・暮らしを未来につなぐ」に基づき、第6次小牧市総合計画の主要課題の一つとして掲げている「名鉄小牧線を軸としたコンパクトシティの形成」及び「各地区の特性に応じた各種事業の実施」により、魅力的かつ安全・安心で住みやすいまちづくりの推進の実現に向けて各種事業を進めることを目的とする。具体的には本市の中心部である名古屋鉄道小牧駅周辺に医療、教育文化、社会福祉や駅前広場などの都市基盤整備や更なる公共交通の充実などにより良好な住環境の形成を図り、中心部では生活利便性の向上、賑わいの創出を、また、その公共交通で結ばれる地域では定住人口の増加を進め、人口減少及び高齢化を見据えた中で過度に自動車に依存しないコンパクトな都市構造の構築を目指すものである。これにより、まちの魅力をより向上させ、暮らしを守り・未来につなぐまちの形成を図るものである。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	784	A	664	B	0	C	120	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	15.3	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29末	R1末	R2末
1	事業区域内である中心市街地の歩行者・自転車通行量を5,971人から6,413人に増加させる。 「賑わいのあるまちづくり」に向けた都市基盤整備や各種事業実施の効果を測るため、中心市街地の歩行者・自転車通行量の変化で評価する。	5971人	6328人	6413人
2	事業計画区域内を走行するこまき巡回バスの利用者を348千人から361千人に増加させる。 都市基盤整備による公共交通機関の利用促進の効果を測るため、事業実施予定箇所に関連するこまき巡回バスの利用者数(千人)を計る。	348千人	355千人	361千人
3	事業計画区域内の「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」と思う市民の割合を69.8%から71.9%に増加させる。 「暮らしの安全・安心の確保」に向けた都市基盤整備や各種事業実施の効果を測るため、「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」と思う市民の割合をアンケートの実施により集計する。	70%	71%	72%
4	事業区域内における小牧にぎわい隊が主催する城見市に参加するボランティア数を80人から100人に増加させる。 地元に対する関心を高め、将来、自主的にまちづくりを担う人材の育成を図り、持続可能なまちづくりにつなげるため、小牧にぎわい隊が主催する城見市等に参加する中高生のボランティア数を計る。	80人	90人	100人
5	市域全体で市が認定するヘルシーメニューを提供する店舗数を5件から20件に増加させる。 事業効果を測るため、ヘルシーメニューを提供する店舗数を計る。(再開ビル「ラビオ」内に平成31年度に供用開始を予定している(仮称)こども・子育て包括センターの来館者がより増加する取組みや来館者が小牧駅周辺を回遊しなくなる取組みを実施することで、小牧駅周辺の活性化を目指す。)	5軒	15軒	20軒

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	小牧市	直接	小牧市	-	-	都市再生整備計画(小牧 駅周辺地区)(1-A-1)	A=300ha 道路、中心拠点誘 導施設等	小牧市						664	1.7	-	
												小計						664		
												合計						664		

C 効果促進事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	小牧市	直接	小牧市	-	-	既存ストック再整備事業 (1-C-5)	施設整備 7,000㎡	小牧市						120		-	
		基幹事業である「都市再生整備計画事業(1-A-1)」において、こども・子育て関連施設と一体的に整備することにより、利用者の多様なニーズに対応でき、計画目標である中心市街地にふさわしい賑わいのあるまちづくりの実現を図る。																		
												小計						120		
												合計						120		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
担当部署内で事後評価を実施	令和3年3月
	公表の方法
	市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、社会福祉施設といった都市福利施設等の整備により、駅を中心とした都市機能の更新・集積が図られたことにより、巡回バスの利用環境が向上した結果、利用者数が増加したことから、事業の効果が発現していると考えられる。 ・地域中核災害拠点病院である市民病院の整備事業、道路整備、電線共同溝整備等により、災害に強い都市空間の整備推進が図られ、まちの防災性が向上したことにより、市民調査において「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」として評価する割合が上昇したと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・小牧駅を中心とした都市機能の更新・集積により、駅周辺でのマンション建設が進み、街なかでの人口増加に寄与している。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・駅を中心に中心市街地に集い・滞在し・交流できるようなまちづくり活動を支援することによって、整備された駅前がにぎわいある空間として機能を発揮するよう図っていく。 ・公共交通利便性の高い本地区において賑わいの創出を図るとともに、継続して巡回バス等の公共交通の利便性確保を図る。 ・引き続き「自動車交通に過度に依存しない、歩いて暮らせる徒歩生活圏の形成」を図る。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	6413人	事業区域内である中心市街地の歩行者・自転車通行量を増加させる。 誘導施設整備や道路整備など未完了であることから、評価時点での来館者の通行が見込めなかったことや、駅前広場、駅にアクセスする道路等の整備工事による歩行者導線が変則的になっていたことなどから、歩行者・自転車交通量の増加につながらなかった。
	最終実績値	5590人	
2	事業計画区域内を走行するこまき巡回バスの利用者を増加させる。		目標達成
	最終目標値	361千人	
	最終実績値	404千人	
3	事業計画区域内の「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」だと思ふ市民の割合を増加させる。		目標達成
	最終目標値	72%	
	最終実績値	78%	
4	事業区域内における小牧にぎわい隊が主催する城見市に参加するボランティア数を増加させる。		都市再生整備計画に位置付けた各種のハード整備を進め、にぎわいの創出に向けた土壌は整ったものの、市民の自発的なまちづくり活動やボランティア活動への参加の誘発には至らなかったと考えられる。
	最終目標値	100人	
	最終実績値	26人	
5	市域全体で市が認定するヘルシーメニューを提供する店舗数を増加させる。		小牧市立図書館や、駅から施設にアクセスする道路整備事業等と関連した沿道店舗等の賑わい創出の取り組みが不十分であったことから、駅周辺の回遊したくなる取組みとしてのヘルシーメニュー提供店舗の増加にはつながらなかった。
	最終目標値	20軒	
	最終実績値	0軒	